

# 施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



## 1 施策の基本情報(Plan)

施策名	22 良好な市街地の形成	
目的	対象	市民
	意図	便利で快適になる
施策の方向	都市計画の最上位計画である調布市都市計画マスタープランを基本として、適正な土地利用を推進するとともに、市民に身近な景観の価値の向上を図る景観まちづくりを推進し、利便性と快適性を兼ね備えた良好な市街地を形成します。	

## 2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

<p>施策の目的、方向に対する考察 (Check・Action)</p> <p>令和5年8月に策定した「調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画」で示したまちづくりの方針や将来像の実現に向けて適正な土地利用の推進を図る。                  景観まちづくりについては、景観計画に基づく届出制度の運用を通じて、良好な景観形成に寄与することができた。また、景観計画改定に向けて、都市計画マスタープランなどの上位計画との整合やまちづくりの動向、計画策定後の運用状況の振り返りを通して改定の方針案を決定をした。引き続き、届出制度の運用と改定に向けた取組を進める。                  また、令和6年3月に策定した「調布駅中心市街地公共サイン整備計画（調布駅／第2期）」に基づき、令和6年度は誘導サイン3基を設置し、利用者の利便性の向上に繋げることができた。今後も継続して計画に基づいた公共サイン整備に取り組む。</p>
---

## 2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
住みやすいと感じている市民の割合	%	93.8 令和4年度	94.7	94.4	95.0 令和8年度	▼	・より多くの市民に住みやすさを実感してもらうため、都市計画マスタープランで示したまちづくりの理念や将来像の実現に向け、引き続き取り組んでいく必要がある。
市内に優れた景観があると感じている市民の割合	%	81.9 令和4年度	81.7	83.6	90.0 令和8年度	○	・市民に市内の景観の魅力を発見、実感してもらえるよう、引き続き景観法の制度を活用し景観施策に取り組んでいく必要がある。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

## 3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

### ■22-1 適正な土地利用の推進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
71	都市計画マスタープランの運用	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	・都市計画マスタープランの運用による適正な土地利用の推進 ・立地適正化計画の運用（届出制度を活用した誘導） ・中心市街地における土地利用方針等の調査・検討 ・都市計画生産緑地地区及び特定生産緑地の指定・運用	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・都市計画マスタープランの運用による適正な土地利用の推進 ・立地適正化計画の運用（届出制度を活用した誘導） ・中心市街地における土地利用方針等の調査・検討 ・都市計画生産緑地地区及び特定生産緑地の指定・運用

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

■22-2 景観まちづくりの推進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
72	景観計画・景観条例の運用	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計面前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	・景観計画に基づく届出制度の運用 ・景観学習の推進（景観まちづくり市民検討会・大学連携） ・景観計画の改定に向けた調査・検討	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・景観計画に基づく届出制度の運用 ・景観学習の推進（景観まちづくり市民検討会・大学連携） ・景観計画の改定（令和7年度）
No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
73	公共サイン計画の検討・運用	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計面前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	・調布市中心市街地公共サイン整備計画(調布駅/第2期)に基づく公共サイン整備（3基）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・中心市街地公共サイン整備計画(調布駅/第2期)に基づく公共サインの整備（11基） ・京王多摩川駅周辺地区における公共サインの整備計画の策定及び整備

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

4 施策の推進，成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和6年度の実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・公共サインにおけるQRコードを使用した観光情報の掲載【令和7年度】 ・都市計画情報のデジタル技術による効率的な活用の推進【令和6年度・7年度以降】	・景観まちづくり市民検討会による活動の継続【令和6年度・7年度以降】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
	・事前復興まちづくりの検討【令和7年度以降】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

・ユニバーサルデザインの観点から、点字でのサイン表示や音声・触知サイン等も検討していく必要がある。 ・中心市街地について、令和7年度・8年度で示す土地利用の方針に基づき、令和9年度以降に都市計画手法等によるまちづくりのルール化等を検討する方向である。
--